

国際バカロレアを中心としたグローバル人材育成を考える有識者会議
—最新のトピックスについて—

平成 29 年 3 月 9 日

東京インターナショナルスクール理事長

坪谷ニューエル郁子

- (1) 国際バカロレア (IB) の最新の世界/日本の情報
 - A) 世界の IB 認定校の最新情報
 - B) IB アジア太平洋地区大会
 - C) IB 機構の組織編成

- (2) IB の導入意義
 - A) IB は究極のアクティブラーニングの教育法
 - B) 学習指導要領の方向性とも一致しており、その先進例である

- (3) 前回の委員会での提言
 - A) 国内大学における IB 修了生の受け入れ態勢
 - B) IB と学習指導要領との対応関係の整理
 - C) 外国人教員の特別免許状
 - D) 国内における IB 教員養成 (高等教育)

- (4) 今後の課題
 - A) PYP/MYP/DP 一体的な支援 (日本語 DP の更なる支援の強化)
 - B) IB 認定校・候補校へのヒアリングによる導入・実施する上での課題の洗い出し
 - C) 情報交換/教員採用情報/学習指導要領とのマッピング案/その他必要な情報をつねにアップするなどのプラットフォームの創設
 - D) 大学入試における個別の科目スコアの活用と受講の推奨
 - E) 海外の IB 卒業生の日本の大学への受け入れ態勢の強化
 - F) IB を導入した認定校や IB 卒業生を受け入れている大学における効果の検証

国際バカロレアの最新トピックスについて

東京インターナショナルスクール理事長 坪谷ニューエル郁子

IBのプログラム

プログラム	設立時期	対象年齢	世界 (2017.3月)	日本 (2017.3月)
初等教育プログラム (PYP)	1997	3歳～12歳	1,500校	21校
中等教育プログラム (MYP)	1994	11歳～16歳	1,382校	11校
ディプロマ・プログラム (DP)	1968	16歳～19歳	3,170校	31校
※キャリア・プログラム (IBCP)	2012	16歳～19歳	133校	—

※キャリア・プログラム(IBCP):主に就職や専門学校を目指す生徒のため、
社会に出て役立つスキルの習得を目指すプログラム

IB導入校の増加数/率

プログラム	2009年10月	2017年3月	増加率
初等教育プログラム (PYP)	522	1,500	287.74%
中等教育プログラム (MYP)	613	1,382	225.45%
ディプロマ・プログラム (DP)	1,821	3,170	174.08%
合計	2,956	6,052	204.74%

※複数のプログラムを導入している学校があるため、合計数は全体の学校数と一致しない

各国のIB導入校数

2017年3月現在

国	PYP	MYP	DP	Total
アメリカ	540	654	914	1,806
カナダ	84	171	174	372
エクアドル	12	10	264	264
オーストラリア	120	46	66	177
インド	67	25	111	135
英国	13	14	120	128
メキシコ	57	38	70	112
中国	44	32	86	105
スペイン	13	17	98	100
ドイツ	24	12	71	74
日本	21	11	31	42

※複数のプログラムを導入している学校があるため、合計数は全体の学校数と一致しない

国際バカロレアアジア太平洋地区大会 概要

日時 : 2017年3月29日~31日(3日間)

場所 : パシフィコ横浜

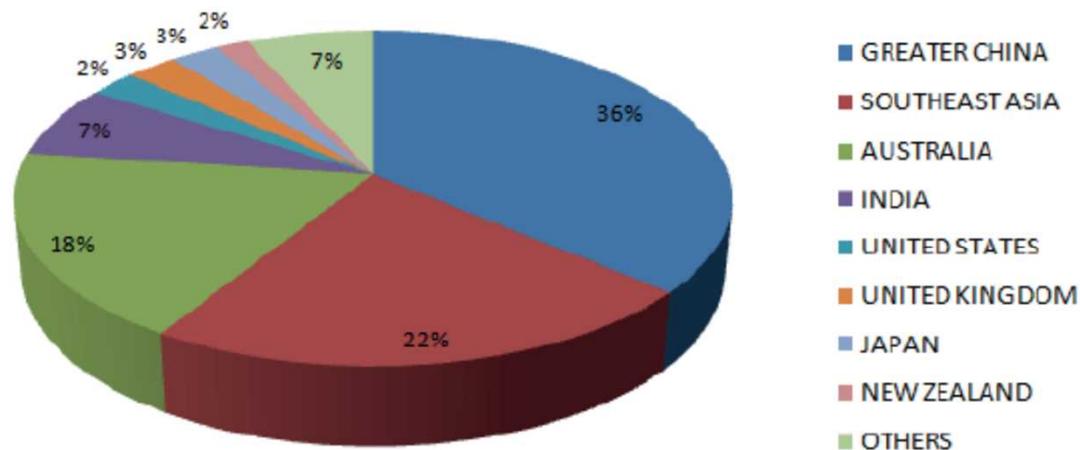
(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)



大会の特徴

- アジア太平洋地区で毎年1回開催される大会で、日本でははじめての開催となる
- 昨年インドで開催された大会では、1,200名超の学長・校長をはじめとする教育者が参加

- Educators
- Governments
- Universities
- Principals
- Heads of School
- Heads of Department



日本開催の意義

1. 日本の教育関係者と世界の教育関係者による情報交換の場となります。
2. 世界で初めて、欧米語以外の母国語での卒業試験が日本で実施されたことを紹介することで、他の国々の先行事例を提示することができます。
3. 日本の教育の素晴らしさを各国の教育関係者が知る良い機会になります。
4. 日本の大学においてIB入試が導入されていることを紹介することで、学部からの日本への留学を各国の教育関係者が知る良い機会になります。